

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場取引所 大

上場会社名 石原薬品株式会社

コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹森 莞爾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浅野 真司

TEL 078-681-4801

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,989	24.1	26	89.5	44	85.3	23	87.4
21年3月期第1四半期	3,940		257		302		186	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.38	
21年3月期第1四半期	25.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	15,371	12,221	79.5	1,761.94
21年3月期	14,513	12,146	83.7	1,751.06

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 12,221百万円 21年3月期 12,146百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		18.00		18.00	36.00
22年3月期					
22年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	5,900	25.5	70	86.8	90	84.6	50	81.5	7.21
通期	12,000	9.8	370	1.9	440	1.1	270		38.92

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[注] 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	7,460,440株	21年3月期	7,460,440株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	523,943株	21年3月期	523,793株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	6,936,510株	21年3月期第1四半期	7,419,763株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや在庫調整の進展を受けて景気の底打ち感が広がりました。当社が対応する業界においても対応市場毎に状況は異なりますが、総じて緩やかな回復基調が出てまいりました。当第1四半期の業績は、売上高2,989百万円(前年同期比24.1%減)、営業利益26百万円(前年同期比89.5%減)、経常利益44百万円(前年同期比85.3%減)、四半期純利益23百万円(前年同期比87.4%減)となりました。

事業分野別売上高及び概要は、次のとおりであります。
(事業分野別売上高)

(百万円未満切捨表示)

区分	事業分野	前第1四半期 会計期間	当第1四半期 会計期間	増減	平成21年3月期
製品	金属表面処理剤及び機器等	1,328	903	424	3,922
	電子材料	101	46	54	346
	電子関連分野計	1,429	950	478	4,268
	自動車用品分野	268	259	9	998
	工業薬品分野	37	31	6	142
	製品合計	1,735	1,241	494	5,409
商品	金属表面処理剤及び機器等	185	270	84	715
	電子材料	668	415	253	2,131
	電子関連分野計	854	685	168	2,847
	自動車用品分野	131	117	13	531
	工業薬品分野	1,219	944	274	4,516
	商品合計	2,205	1,748	456	7,896
総合計		3,940	2,989	951	13,305

(概要)

当第1四半期は、電子関連分野及び工業薬品分野において、当初計画を上回る状況で推移し、自動車用品分野は、ほぼ当初計画に沿って推移しました。ただ、前年同期比較は各分野とも前年を下回る結果となりました。

電子関連分野が対応する電子部品業界は、在庫調整の進展、中国の家電購入促進策に伴う需要増などを背景に電気機器の輸出の持ち直しが鮮明になってきました。このような状況下、めっき液は回復基調にあるものの、国内需要、海外需要に差が見られ、また、部品用途毎に需要のバラツキがありました。化成処理液自動管理装置及び試薬は、フラットパネルの液晶関係を除き生産の回復は鈍く、設備投資抑制も続き販売は低調に推移しました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は1,174百万円(前年同期比22.5%減)となりました。電子材料のニッケル超微粉は、需要先のセラミックコンデンサの生産稼働率の影響を受け回復基調にあるものの伸びは鈍く、また、機能材料加工品は、対応する半導体製造装置業界が需要先の半導体各社の設備投資の減少を受け、需要減少が続いており、当社の機能材料加工品の需要も低迷しました。この結果、電子材料の売上高は462百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

自動車用品分野は、エコカー減税等が実施され、ハイブリッドカー等人気車種の販売は順調であります。一般的には国内新車販売台数低迷は続き、カーアフターマーケットも需要低迷が続き、売上高は376百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

工業薬品分野は、対応する鉄鋼業界において、低迷する内外需要を受け鋼材生産は引き続き低い水準で推移し、売上高は976百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より91百万円増加し3,125百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益が前年同期に比べ259百万円減少し42百万円となり、減価償却費59百万円、売上債権の増加414百万円、仕入債務の増加420百万円等により168百万円(前年同期 18百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の預入による支出203百万円及び有価証券の取得による支出49百万円等により 266百万円(前年同期 21百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入300百万円及び配当金の支払117百万円等により168百万円(前年同期306百万円)となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

在庫調整の進展などで自動車や電子部品などの生産が持ち直してきましたが、生産の水準は前年同期の7割程度となお低く、設備投資、消費、需要の先行きなど不透明な部分があります。

このような状況の中、第2四半期累計期間の業績の見通しにつきましては、対応する事業について全般的に見直しを行い下記のとおり修正いたします。

第2四半期累計期間の業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,200	130	100	100	14円42銭
今回発表予想(B)	5,900	70	90	50	7円21銭
増減額(B-A)	700	200	190	150	21円63銭
増減率(%)	13.5%	-%	-%	-%	-%
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期 第2四半期累計期間)	7,924	531	584	270	36円43銭

(注)上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

通期の業績見直し

平成22年3月期の通期の予想につきましては、先行きの経済の状況が不透明であり、変動要因を見込むことが困難でありますので、現時点では当初予想値を変更しておりません。

4. その他

簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しています。

5.【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,337,440	3,042,613
受取手形及び売掛金	3,206,082	2,791,111
有価証券	826,332	415,246
商品及び製品	547,605	530,019
仕掛品	71,555	53,601
原材料及び貯蔵品	309,707	364,340
その他	274,355	309,930
貸倒引当金	321	279
流動資産合計	8,572,758	7,506,583
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,775,919	1,731,927
その他(純額)	899,179	960,326
有形固定資産合計	2,675,098	2,692,254
無形固定資産		
	16,076	15,106
投資その他の資産		
投資有価証券	2,957,628	3,097,635
その他	1,155,250	1,207,321
貸倒引当金	5,128	4,978
投資その他の資産合計	4,107,750	4,299,977
固定資産合計	6,798,925	7,007,338
資産合計	15,371,683	14,513,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,092,396	1,671,758
短期借入金	300,000	-
1年内返済予定の長期借入金	24,000	30,250
未払法人税等	22,720	-
賞与引当金	71,496	80,966
役員賞与引当金	10,900	-
その他	258,248	215,486
流動負債合計	2,779,762	1,998,461
固定負債		
長期借入金	20,000	26,000
退職給付引当金	90,352	90,352
役員退職慰労引当金	191,663	185,954
その他	68,181	66,658
固定負債合計	370,197	368,965
負債合計	3,149,960	2,367,427

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,721,281	1,721,281
利益剰余金	9,630,310	9,731,697
自己株式	488,187	488,048
株主資本合計	12,310,684	12,412,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	88,960	265,715
評価・換算差額等合計	88,960	265,715
純資産合計	12,221,723	12,146,495
負債純資産合計	15,371,683	14,513,922

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,940,957	2,989,638
売上原価	2,890,061	2,225,303
売上総利益	1,050,896	764,335
販売費及び一般管理費		
販売促進費	23,768	16,531
運賃及び荷造費	65,918	50,596
旅費及び交通費	45,405	33,202
報酬給与手当及び賞与	165,602	158,950
賞与引当金繰入額	41,486	39,206
役員賞与引当金繰入額	10,900	10,900
退職給付引当金繰入額	6,030	5,873
役員退職慰労引当金繰入額	5,709	5,709
福利厚生費	45,671	45,052
研究開発費	193,148	218,688
減価償却費	25,746	22,312
貸倒引当金繰入額	76	191
その他	163,815	130,126
販売費及び一般管理費合計	793,279	737,339
営業利益	257,616	26,995
営業外収益		
受取利息	10,181	512
有価証券利息	-	5,528
受取配当金	12,456	11,288
為替差益	19,214	-
その他	7,194	5,599
営業外収益合計	49,047	22,928
営業外費用		
支払利息	328	172
売上割引	879	276
為替差損	-	2,432
コミットメントフィー	1,867	1,869
その他	594	579
営業外費用合計	3,670	5,330
経常利益	302,994	44,593
特別利益	-	-
特別損失		
固定資産除却損	51	1,300
減損損失	173	486
特別損失合計	225	1,786
税引前四半期純利益	302,769	42,807
法人税等	116,161	19,334
四半期純利益	186,608	23,472

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	302,769	42,807
減価償却費	62,287	59,196
減損損失	173	486
貸倒引当金の増減額(は減少)	76	191
賞与引当金の増減額(は減少)	66,487	9,470
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10,900	10,900
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,709	5,709
受取利息及び受取配当金	22,643	17,340
支払利息	328	172
有価証券及び投資有価証券売却損益(は益)	13	-
為替差損益(は益)	15,363	22,061
有形固定資産除却損	51	23
売上債権の増減額(は増加)	100,146	414,971
たな卸資産の増減額(は増加)	195,105	19,092
仕入債務の増減額(は減少)	162,369	420,638
その他の流動資産の増減額(は増加)	19,066	32,010
その他の流動負債の増減額(は減少)	56,425	33,113
その他の固定資産の増減額(は増加)	12,635	12,292
その他の固定負債の増減額(は減少)	1,583	-
小計	184,377	148,203
利息及び配当金の受取額	21,704	16,001
利息の支払額	328	172
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	224,250	4,429
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,498	168,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,000	203,000
有価証券の取得による支出	124,826	49,980
有価証券の売却及び償還による収入	130,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	18,635	31,173
無形固定資産の取得による支出	5,089	2,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,550	266,863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	480,000	300,000
短期借入金の返済による支出	30,000	-
長期借入金の返済による支出	18,500	12,250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	2,224
自己株式の取得による支出	-	139
配当金の支払額	125,055	117,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	306,444	168,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,363	22,061
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	281,758	91,826
現金及び現金同等物の期首残高	2,628,353	3,033,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,910,111	3,125,440

(4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

当第1四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。